



# みなみいづ 町議会だよい

No. 56号  
2014年  
平成26. 2. 3

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240  
E-mail:gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp



平成26年南伊豆町消防団出初式パレード（於ふるさと公園）

12月定例会を12月5日から12月6日まで2日間の会期で開催しました。

主な内容	● 議長新年の挨拶	2
	● 平成25年12月定例会	3~4
	● 一般質問	5~11
	● 議会一口メモ、くろ潮	12



## 新年のご挨拶

南伊豆町議会議長 稲葉勝男

明けましておめでとうございます。  
平成26年を迎えるにあたり、議会を代表  
し、一言ご挨拶申し上げます。

昨年、国は長年のデフレ脱却を目的と  
した経済政策「アベノミクス」が効を奏  
し、景気も上向いたと報じております。

さて、我が町に目を轉じれば基幹産業  
である観光を中心に各産業の低迷、少子  
高齢化による人口減少、防災・減災対策  
等多くの課題が山積しております。

しかし、明るい話題とし、係争中であつ  
た石廊崎ジヤングルパーク跡地問題が解  
決し、今後は、観光伊豆の要衝となるよ  
う関係市町と連携した利用計画を進める  
必要があります。また、2月には東駿河  
湾環状道路が全線開通し、東名、新東名

高速道路との時間も大幅に短縮され、觀  
光産業の活性化が大きく期待されます。

議会は、主権者である皆さまの付託を  
厳粛に受け止め、町民全体の福祉向上を  
議会で実現し、信頼され開かれた議会を  
創るために議会基本条例の制定を目指し  
てまいります。

今後も、町議会へのご指導、ご支援を  
賜りますようお願い申し上げます。

むすびにあたり、町民の皆さまの益々  
のご健勝とご多幸を祈念し、新年の挨拶  
といたします。



# 平成25年度 一般会計・特別会計〔介護保険・三坂財産区・ 土地取得・公共下水道事業〕 水道事業会計補正予算可決

## 総額4億3,986万9千円！

(水道事業会計を除く)

- 一般会計 ..... 3億5,149万1千円  
(企画調整事務・緊急地震津波対策基金・大規模地震対策事業など)
- 特別会計 ..... 8,837万8千円
  - 介護保険 ..... 8,588万3千円
  - 土地取得 ..... 30万円
  - 三坂財産区 ..... 19万5千円
  - 公共下水道事業 ..... 200万円
- 水道事業会計 ..... ● 収益的支出...△651万4千円  
● 資本的支出...△ 94万9千円

### ①条例制定・改正

▼南伊豆町後期高齢者医療に関する条例の一部を  
改正する条例制定について

全員賛成で可決

▼南伊豆町営住宅条例の一部を改正する条例制定  
について

全員賛成で可決

▼静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する  
規約制定について

全員賛成で可決

▼社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本  
的な改革を行うための消費税法の一部を改正す  
る等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関す  
る条例制定について

賛成多数で可決

▼南伊豆町緊急地震・津波対策基金条例制定につ  
いて

賛成多数で可決

▼平成25年度南伊豆町一般会計補正予算

(第4号)

全員賛成で可決

▼平成25年度南伊豆町介護保険特別会計補正予算

(第2号)

全員賛成で可決

▼平成25年度三坂財産区特別会計補正予算

(第1号)

全員賛成で可決

▼平成25年度土地取得特別会計補正予算

(第1号)

全員賛成で可決

▼平成25年度南伊豆町公共下水道事業特別会計補正予算

(第2号)

全員賛成で可決

▼平成25年度南伊豆町水道事業会計補正予算

(第一号)



津波避難タワー進捗状況



成人式

一般質問

町樂に聞かもつた



宮田和彥議員

大島町で土石流が発生し甚大な被害が出た。気象庁が公開している気象統計情報の過去30年間の台風平年値発生数は年間25.6個、接近数は11.4個、上陸数2.7個だ。台風が接近・上陸した場合、前線等を刺激し土砂・洪害・高潮災害等の大きな被害が高い確率で発生している。町民の命を守るために

**岡長** 土砂・洪水災害には「避難勧告等の判断・伝達マニコアル」に基づき発令の判断をしています。発令に際しましては、静岡県土木総合システム「サイボスレーダー」町内の雨量、青野川の水位等の把握と気象庁・静岡県等の気象予測を参考に総合的な判断

**タイムライン式対応計画**

**高潮・高波対策**

## 避難基準について

**質問** 10月16日未明台風26号がもたらした豪雨により

早期避難に係る明確な避難判断基準が必要と考えるのが。

**防災室長** 本年度中には地域防災計画の全面改正を実施したいと作業を進めています。

**質問** 災害時、救助を待つ人の生死を分けるタイムリミットは72時間。町民の命を守る為に早急な「タイムライン式対応計画」の策定が必要だ。

質問　弓ヶ浜の砂浜が大変後退し高潮等で沿岸に居住する町民の安全・安心が奪われている。早期の対策とともに観光資源として魅力が失われない配慮を望む。

をしていきます。現在、地域防災計画の見直し作業をしていますが、併せて「避難勧告等の判断伝達マニュアル」についても土砂災害・洪水・高潮・高波についてのマニュアルを作成する予定です。

対応計画」を作成し台風の接近が予想される時刻から逆算してどの様な対策を誰が行うのか記されている。町に合う災害前後の「タイマーイン式対応計画」の策定の考えは。

**町長** 下田土木事務所港湾課から弓ヶ浜に関する高潮  
高波について対応策を湊区と協議する準備があると連絡を受け、区にはその旨の連絡をしています。対策方  
法として海岸道路の嵩上げ、波返し等の設置が考えられている様です。今後、下田  
土木事務所、湊区との調整を図ることで対応したいと考えています。



長田美喜彦 議員

た施設を考えていきたいな  
ということで、今、その準備・交渉に入っているところです。

**質問** 銀の湯前に植栽をした工力を、今後、管理しどのように増やし観光に結び付けていくのか。

## 観光問題について

**質問** 皆様方、いろいろと工夫して観光客を誘致・宿泊に努めていると思うがそこで、伊勢海老号の費用対効果と今後の展開はどのように考えているのか。

考えます。  
民宿に対する要望もだいぶありました。

300人の募集に対し300人が集まりました。宿泊がホテル・旅館に限られていて、300人の宿泊客がもたらす経済効果は当町にとって大きいと考えますので、民宿・ペンション等その他宿泊施設の振興策とのバランスをとりながら、事業効果を検証しつつ、次年度につきましても実施したいと

**産業観光課長** 親子で、ま

さに親子で遊べるそういうの

## 災害問題について



作る必要があるのではないのかと思うが、町の考えは。町長 土砂災害・洪水における避難勧告等の判断・伝達マニュアルに基づき、発令の判断をしている。

発令に際しては、県土木総合情報システム「サイボスレーダー」、町の雨量計等から、町内の雨量、青野川

町長 民有地であるが、観光施設近傍地であることがら、県グリーンバンク景観整備事業地として採択され、間伐が実施された。

観光協会と間伐を実施した民間事業者が連携して工

り力の植栽も行っている。

状況がよければ、本年度も補植を実施し、青野川の桜並木に続く観光資源として大切に育てていきたい。

気象厅・県などの気象予測を参考に、総合的な判断を行っている。現在、地域防災計画の見直しを実施している。

の水位など状況を把握し、汀線・深浅測量を行っている。

**質問** 台風や高波・高潮が来たおり、年々弓ヶ浜の砂が減少しているのではないのか。現在土木事務所で調査していると聞いているが、その進捗状況などを報告はあったのか。

## 弓ヶ浜について

町長 松林は、風や砂から集落を守る保安林と「渚百選・弓ヶ浜」の景観として多目的な要素をもつて重要なことは認識している。渾区を守るために施設整備について打診している。

町長 県では、砂浜減少の詳細については、長期的な状況を把握するために調査を継続中で土木事務所での汀線・深浅測量を行っている。

**質問** 高潮・高波等で松林に波が流れ込んでいる。被害が出るのではないか。

町長 県では、砂浜減少の詳細については、長期的な状況を把握するために調査を継続中で土木事務所での汀線・深浅測量を行っている。

**質問** 大島で起きた土石流を教訓に、避難勧告・指示の発令のタイミングと避難所への誘導は、私としては重大な危険が予測される場合の早期の避難の仕組みを



## 歴史・史跡を活かした町の活性化について



# 吉川映治議員

も満足しておられるのであって、その一連の中で教育もあるべきと思います。

**質問** 「町の歴史・史跡巡り」を、小・中学校の授業に組み入れる事は可能か。

**教育長** 小・中学校の学習用として「南伊豆町の文化財めぐり」という教材があり、今後はジオ等の資料も載せて、充実したコースを巡る授業が組めればと思っております。

**質問** 当該授業の為の講師  
育成や配置については。

**質問** 南伊豆町の歴史・史跡や伝説等を小・中学生に知つてもらい、郷土愛を育む意識を高める考えは。

**教育長** 有形・無形の文化財の保存・継承の必要性と

教育を行い、「持続可能な社会」「町の活性化」が考えられれば、と思っています。

## 平成26年度 予算編成について

**質問** 平成26年度予算編成に当たって、消費税増税による影響をどう考えるか。

**質問**  
・ 整備・開発については。

**町長** 平成26年度では、石廊崎公共用地整備・開発の計画策定が中心になるかと思われます。

**町長** 当センターの重要性は周知の通りであり、来年度では各委員会を設けて、建設の調査研究を進めます。

**質問** 健康福祉センターの早期建設に向けて、26年度予算編成での枠組みは。

**質問** 総務課長 消費税増税の影響だけを見ても、6,500万円歳出が歳入を上回ります。結果、大変厳しい予算を組まなくてはなりません。

**町長** 歳入の伸びは期待できない反面、歳出は8,000万円程の増加が見込まれます。従って、例年以上に厳しい予算編成作業となります。

**建設課長** 砂防ダムに関して、担当者と石廊崎の方々と協議を行い、再度事業開始に向けて進んでいます。

**質問** 「自主防災補助金」で  
来年度も同額、又は同額以  
上の予算計上を望むが。

**町長** 前者は、町内にある各事業所等への支援と新たな雇用の確保、後者は、ワープステイの検討及び移住セミナー開催、とそれぞれ計画・予算措置を講じます。

**質問** 来年度の経済対策として「働く場所の確保」「定住化対策」を掲げているが具体的な施策は。

町長 9月17日と29日に観光・商工・農林漁業・福祉分野と分野ごとに座談会を開催し、10月2日に町民全体を対象にした報告会を開催しました。この事業は下賀茂温泉の湧出メカニズム解明に繋がるとともに、地熱資源が豊富に存在するこどが判明した場合は、人口

質問 10月2日に湯けむりホールで住民説明会が開催され、町長は前向きに進める意思表示をした。10月中旬の補助金申請予定が延期されたようだが、今後の進行状況はどうなっているか。

## 温泉地熱調査の継続と地域活性化座談会のすすめ方



加畠 毅 議員

源であると考え、石油を掘り当てるのと同じぐらいの資源と考えます。そのことが地域経済を潤し、南伊豆町の経済を活性化するということは紛れもない事実だと思います。

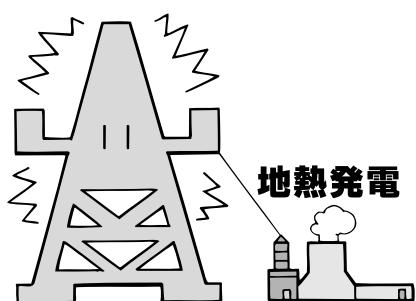
質問 この件に関して、私も町長の考えと同様で、進めるべきと思っている。南伊豆町議会は浜岡原発の再稼働に反対の意見書を出して

質問 この件に関して、私は町長の考えと同様で、進めるべきと思っている。南伊豆町議会は浜岡原発の再稼働に反対の意見書を出して

ないことだと思う。いわゆる石廊崎問題と同様にワーケシヨップ形式で準備していくのだと思うが、地熱の調査内容説明だけでなく、地熱を利用した地域活性化の具体的な方法までも議論すべきであり、まちづくりの観点から考えれば、むしろそこに重点を置くべきであると思うが、どう考えていくか。

町長 町民の皆さんに地熱発電をご理解いただくための会合は数多く開催したいと思っております。現在、地熱発電所が稼働している

深部の掘削による温泉への影響が危惧され、現時点では町民の皆さまの合意が得られたとは言い難く、経済産業省の地熱資源開発調査事業費助成金交付事業及び地熱開発理解促進関連事業支援補助金については、本年度の申請を見送ることになりました。私は地熱が宝であり、南伊豆町の重大な資



森林・山村の多面的機能發揮のため  
の林野庁の補助金  
内容

※質問し、答弁があつた。

ではないことは難しいのではないかと私は思います。現実に地熱発電所ができるまでのリード期間というか準備期間で10年ぐらいは必要になります。そう考えると早い決断をしていきたいと思っています。

のは東北・九州が多いわけですが、東北にある地熱発電所が3・11の地震以降も正常に稼働しているという報告文献がありました。地熱発電は皆さんが考えてい

るほど危険なものではないという認識を持つて進めております。地熱はシェールガスや石油と同じような重要な資源であり、南伊豆町の宝であると思います。この宝を利用する方向を考えていかないと、南伊豆町の活性化というのは難しいのではないかと私は思います。

現実に地熱発電所ができるまでのリード期間というか準備期間で10年ぐらいは必要になります。そう考えると早い決断をしていきたいと思っています。



谷 正 議員

**質問** 1次産業（漁業）と2次産業、3次産業との連携（6次産業化）をどう考

**町長** 「つくり育てる漁業」を目指し、稚貝や稚魚の放流事業を継続して実施している。後継者育成については、伊豆漁協と水産教室を共催し、漁業への理解と関心を高め、後継者育成を開いている。今後も関係団体等と連携し、新規就業者人材育成の支援や財政的支援に取り組む。

**質問** 漁業振興と後継者育成は。

**町長** 地場産品に付加価値をつけブランド化、合わせてインターネットショッピングモールを利用して販売、静岡県等の関係部門と連携を図り、6次産業化に取り組む。



**町長** 町内沿岸で水揚げされた魚介類は町内宿泊施設や飲食店等においても地元食材の提供が必要であり、地産地消や担い手確保を含

**質問** 町長自らトップセールスの考えは。

**町長** 機会があればいつも行動する。友人等や同窓会等で納税のお願いや書簡文を送り、ふるさと納税を進めていきたい。

## 沿岸漁業振興と漁業施設整備は

**質問** 漁業振興と後継者育成は。

えるのか。

**質問** 漁業関連施設の整備は。

**町長** 利用者の要望を受け、伊豆漁協南伊豆支所や下田土木事務所との調整、町の

**質問** 国・静岡県の施策との連携は。南伊豆町への各種スポーツ合宿等の誘致施策や合宿等に関する環境整備の考えは。

**町長** 過去に南伊豆町とはアーチエリー、陸上競技から格闘技まで合宿が行われてきた。関係機関・団体との連絡を密にして合宿等の誘致の方向性を考えていま

**教育長** 漁協青年部の負担も大きいが、今後は地元の子供だけではなく、近隣、塩尻市や横浜市等に理解を得ながら漁業振興につなげる。

**質問** 東京オリンピックを南伊豆町はどう捉えるのか。

**町長** 7年後に開催される東京オリンピックは当町にとって非常に身近な大会になる。O・W・Sもオリンピックの正式競技になっており、町内に施設整備できれば合宿地としての可能性があり、青野川も一連の練習場になる。

**質問** ふるさと納税の使用の明確化（目的税化）は。

**町長** 寄付金の活用、制度の説明、税額控除の内容、寄付の手続きの簡素化や特典等の表示方法を検討したい。

め取り組む。  
**質問** 水産教室の拡充の考えは。

事業の優先順位や財政を考慮ながら、港湾区域内に施設整備を静岡県に要望する。

## ふるさと納税（寄付金）は

たい。



清水清一議員

## 観光産業の活性化

質問 石廊崎の再開発の考え、活性化の考えは。

町長 国や県等の関係機関との調整をし、ワーキングショップで意見や提言を、石廊崎計画策定委員会を経て、利用計画を策定したい。

企画調整課長 基本的にはパブリックコメント等で、幅広く意見をお伺いしたい。

質問 石廊崎、町の土地になり園地事業を引き継いだ。トイレ等の復活や、周りの雑草等の刈取り、木の剪定

町長 期間20万人前後を集め、町も1千万円規模の補助金を投入しているが、経済的效果が見えにくい。駐車料の徴収は、観光協会と協議し進めたい。道の駅も、桜並木保全協力金等をいただき。当然産業観光課は、アドバイスや参画をしている。

質問 みんなの桜と菜の花まつりでの町の取り組みは。

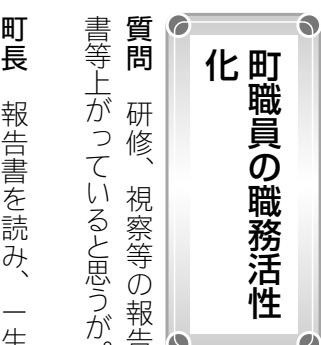


質問 この駐車場の問題は、町当局から有料化しなさいと話を持っていったのか。

町長 施設を利用する駐車場である、料金を取らなくてもいい。何で無料にこだわるのかが逆に意味がわからない。観光客が、宿泊や買い物をし経済効果を与えてくれるというのであればいいが、ただ桜を見て帰るというような話である。無料で開放する必要はない。

質問 銀の湯の駐車場、土日は役場の駐車場を使つている。料金を取るという形で解釈してよろしいか。

質問 駐車場代金は全部でどのくらいか。また環境保全料金等は全部でどのくらい見積もっているのか。環境保全料金は、桜並木の保護等を行うが、どのような保護を行なうのか。



質問 研修、視察等の報告書等上がっていると思うが。

町長 報告書を読み、一生

質問 観光客が来ないことは何事も始まらない。私は駐車場の有料化は人が減り活性化には結びつかない。

産業観光課長 保全料は、道の駅の駐車協力金で60から70万円位と試算。桜の消毒も年2回、50万円位かかる。町と観光協会の予算でやつており、2分の1ずつお互いに出しあつていた。

質問 町長としても不作為は許さないと思うが、町長は許さないと思うが、町長の決意は。

産業観光課長 そういう投げかけをさせていただいた。

懸命勉強していると思う。

町長 仕事自体が減つてるとかふえているとかといふことは、ちょっとあれなんですけれども、極力事務をやってくれている人たちにお願いする形でやっております。

質問 町長は司法書士、町法書士の仕事を一生懸命やつておると解釈したい。町長になつてから司法書士の仕事は大分減つてきましたか。

町長 私も研修し、日々自己研さんをしている。幹部職員には要求をしている。

質問 町長として不作為は許さないとと思うが、町長の決意は。

副町長 総務課長を経由しチェックし、確実に資質は向上している。町長の新年度示達の中に、不作為は許さないと文書を入れた。

課長 利用者の負担を1割から2割に引き上げは、大体20%が該当。特別養護老人ホームの入所の基準改正是、大きな問題はない。  
補足給付の改正は、資産預貯金等の勘案だが、多少

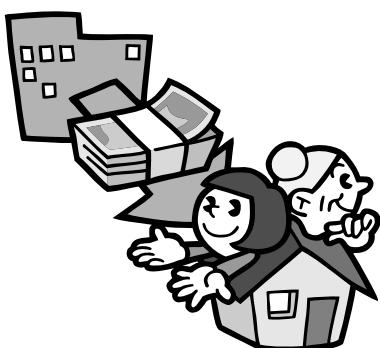
町長 受益と負担の均衡、制度の持続可能性が強調され、膨らみ続ける社会保険費の制約が焦点と認識。見直しもされている。

質問 8月28日から社会保障制度審議会介護保険部会が開始した介護保険見直しが議論の受けとめは。

## 介護保険の見直し



横嶋 隆二 議員



艇型シェルターのきめ細かな配備。津波・高潮浸水を阻む海岸道路のかさ上げ、旧共立湊病院跡地の、津波避難を大前提とした基本対応。内陸部高台へ住宅地形を提案する。

町長 経済効果が伴わない交流人口のふやし方は、余り意味ない。観光は産業であり費用対効果が出なければ、やる意味がない。地域内経済の確立を考え有料化・協力金の形になった。

の影響はある。また、事務負担増のため、全国町村長会が簡易にするよう要望している。介護給付の廃止は若干見直しされているが、通所介護・デイサービスは地域支援事業に移行し、N

英、スウェーデン、日本の中で日本だけ。ほかは平均で5.9から7.8%と国庫支出を増やしている。日本だけ4.1から3.4に低下させている。社会保障、介護のため消費税を上げるという論法はおかしい。町村委会の場で、制度を上げるといふ議論は出た。津波予測高34mと日本一厳しい高

## 自然災害と防災対策

P.O法人・ボランティア団体を指定し、事業の要是メニューをつくることなので、非常に困惑している。給付の抑制は事実だ。

度拡充の立場を主張すべき。国の流れ国際的な流れに、町長はどう見解する。

町長 受益と負担の均衡は仕方ないが、自治体へのしわ寄せは、賛成しない。議員が言う様、社会保障制度、介護制度充実を国に訴える。

質問 第4次地震被害想定第2次報告が出た。津波予測高34mと日本一厳しい高

度拡充の立場を主張すべき。P.O法人・ボランティア団体を指定し、事業の要是メニューをつくることなので、非常に困惑している。給付の抑制は事実だ。

町長 第2次報告については、ライフライン・交通施設被害・危険施設・経済被害等が公表項目。減災対策として、ハード・ソフト施策を組み合わせた多重防御をを目指し、浸水域の避難対策、避難所・避難路整備等に取り組む。広域避難所の設定等は、見直し中の地域防災計画に盛り込む。安全な高台の考えは大切と思う。

## 平成26年度予算まちづくり

質問 道の駅駐車場有料化はできず、任意の協力金となったようだが、道の駅を活用して交流人口を最大限増やすことが町のアピールにつながると私は認識しているが、道の駅をどのように位置づけているのか。

町長 経済効果が伴わない交流人口のふやし方は、余り意味ない。観光は産業であり費用対効果が出なければ、やる意味がない。地域内経済の確立を考え有料化・協力金の形になった。

# 未来を担う子供達 町を元気に！安全に！



年間4回の交通安全運動期間朝7：10～7：40の30分間、あいさつ運動も兼ねた交通安全運動を行っています。生徒会が主体となりボランティアでの参加を呼びかけ、毎回90名ほどの生徒が自主的に参加しています。

本年度は継続的な活動が認められ、県の交通安全功労賞を受賞しました。私たち南伊豆中学校生徒が、地域の方や小学生などと元気に挨拶を交わしながら交通安全を呼びかけることで、「安全で、温かな心通じ合う町づくり」に少しでも貢献できればと思っています。

## 南伊豆町立南伊豆中学校



## ～年末の交通安全運動にて～

為さねば成らぬ  
何事も為さぬは人の  
為さぬなりけり（上杉鷹山）  
(宮)

今しかない。現状維持では後退するばかりである。

12回言うと1年になる。そして、「来年から」を何十回か言うと人生が終わる。

を7回言うと1週間になる。「来週から」を4回言うと1ヶ月になる。「来月から」を

積している。「いつからやるの」と聞かれ「明日から」を7回言うと1周間になる。

療・ジヤングルパーク跡地  
利用・地熱発電開発・少子  
高齢化・鳥獣被害・雇用創  
出等、町の抱える課題が山

弓アニモ少ニ成ハ  
也成ニモ

# みなみいす元気びと



南伊豆ボランティアガイド協会の紹介

本協会は南伊豆の観光や産業の発展に貢献することを目的に、町の自然・歴史・文化などを学び、観光客や地域住民に季節折々のガイド活動を行っています。

文化などを学び、観光客や地域住民による即席でのカクテル活動を行っています。人との“出会い”的面白さ、地域貢献の充実感、また仲間との親睦による楽しさを実感したい人は一緒にやりませんか？現在、会員数は24名。月1回の顔合わせと「みなみの桜と菜の花祭り」等の観光イベントや観光産業との連携では“心温まるおもてなし”をモットーに頑張っています。未経験者大歓迎。

問い合わせ先：62-1019 関本まで

議会一ロメモ

## 常任委員会と 特別委員会

常任委員会は、日本の国会または地方議会の委員会のうち、常設のものをいう。議員は官職を兼ねる者を除き、必ず議院・議会の常任委員会の一つ以上に属する。国では現在法律などであらかじめその設置が規定され、衆院・参院の各々に17常任委員会が設置されている。南伊豆町議会では、第1、第2常任委員会や議長以外の全議員が所属する予算・

決算常任委員会など、3常任委員会が設置されている。特別委員会は日本の国会または地方議会の委員会の種別の一つであり、その名称が法令に明記される常任委員会と異なり、閉会中の期間を含む会期ごとに議決により設置される。常任委員会で審議しきれない場合に集中的に審議する手法として注目される。衆議院では11、参議院では9の特別委員会が設置されている。南伊豆町では行財政改革特別委員会をはじめとし、3特別委員会が設置されている。

(谷)